

市制 110 周年記念ソング「桜プラットホーム」

作詞・作曲：H△G

編曲：幡宮航太

淡い光の中、蛍を追いかけてたこと。  
恐竜のいる公園で“藤”を見てたこと。

お城の傍にある図書館で勉強したこと。  
丘の上の美術館で君を待ってたこと。

懐かしき通学路も、  
変わりゆき少し寂しくなる。

桜の舞うあの駅のプラットホームに立ち、  
過ごして来た町のこと思い出していた。

走馬灯の様に巡るひとつひとつの景色は、  
切り絵みたいにつぎはぎだらけでも、  
今でもここにある。

春咲きの坂道、独りで歩いていたこと。  
白鶴鴿のいる川で空を見てたこと。

真夏のスタジアム、声を枯らしていたこと。  
カラフルなあの橋の下、朝を待ってたこと。

忘れない青春の置き場所。  
花時計、刻む思い出たち。

桜の散るこの駅のプラットホームに立ち、  
めくるめく日々のこと思い出していた。

春風の吹くパレード、花火の日の恋心。  
冬のイルミネーションもここにある。  
いつでもここにある。

桜の舞うあの駅のプラットホームに立ち、  
過ごして来た町のこと思い出していた。

走馬灯の様に巡るひとつひとつの景色は、  
切り絵みたいにつぎはぎだらけでも、  
今でもここにある。